



※各事業の問い合わせ先や各施設・相談窓口などの一覧を裏面に掲載しています
※事業によって開始時期は異なります

妊娠期

乳児期

幼児期

学童期以降

産前・産後のママを応援

1 妊婦健診の支援

妊婦健診費用 14回分を補助します。

2 妊産婦歯科健診

歯科健診を無料で受けられます。

3 妊婦訪問

妊娠中の生活や出産などについて、助産師に相談できます。

4 産後ケア

ママの心身の休息や授乳、子どもとの生活についての相談ができます。
宿泊型と通所型、訪問型からサービスを選べます。

5 おかがき出産・子育て応援事業

- 妊婦の届け出時の面談後 出産応援ギフト (妊婦1人につき5万円)
- 赤ちゃん訪問時の面談後 子育て応援ギフト (赤ちゃん1人につき5万円) をそれぞれ給付します。
また、子育て相談を随時受け付けています。



安心な子育て・安心な保育を応援

16 困ったときの子育てサービス

家事・育児のお手伝いやひとり親の生活支援、子どもショートステイ、一時保育などのサービスを受けられます。

17 届出保育施設の保育料を助成

3歳未満は月1万円、3歳以上は月5千円を助成します。

18 保育コンシェルジュによるサポート

保育所への入所などについて、保育コンシェルジュに相談できます。

19 こどもの発達相談・親子教室

言葉や行動について臨床心理士に相談できるほか、小集団での親子教室があります。



元気な育ちを応援

6 赤ちゃん訪問

生後1~2カ月ごろに助産師などが家庭訪問し、ママや赤ちゃんに関する相談を受けます。

7 インフルエンザの予防接種費用を助成

中学3年生まで、1回の接種につき2千円を助成します。

8 乳幼児健診

4カ月・7カ月・1歳6カ月・2歳・3歳時に健診を行います。

9 にこにこクッキング

離乳食の作り方などを、栄養士に相談できます。

10 ブックスタート

7カ月健診時に絵本のプレゼント・読み聞かせがあります。

11 おかがき 1st バースデーギフト

子どもが1歳になったときに3万円分(第3子以降は5万円分)の電子クーポンを給付します。

12 新生児聴覚検査費用の一部を助成

検査1回あたり2,500円(上限)を助成します。

13 子どもの医療費を助成

医療機関での自己負担額が次のようになります(1医療機関あたり)。
【入院】○未就学児~18歳=無料
【通院】○未就学児=無料
○小学生~18歳=月1,200円まで(10月から月500円まで)
※18歳とは、18歳になって最初の年度末までをいいます。

14 保育料の負担軽減

0~2歳児の保育料を軽減するため、国基準額からの軽減率を現行の11%程度から20%程度まで拡大します(3~5歳児は令和元年から無償化)。

15 新たな保育所の開設

待機児童解消のため、令和7年度開設(定員100人)に向けた支援を行います。



学校生活を応援

25 通学にかかる定期代を補助

通学距離がおおむね2km以上で、バスを利用する小学生に対し、通学定期代の2分の1を補助します。



26 学校生活への不安や困りごとへの対応

教育相談電話のほか、学校にスクールカウンセラー(臨床心理士)、役場に専門の支援員を配置し、いじめや不登校などに関する相談・指導體制の充実を図っています。
※スクールカウンセラーの配置時間を拡充(令和6年度)



27 保護者と学校の連絡アプリ

出欠連絡の管理や学校からのお知らせをアプリで行います。

28 特色ある学校教育

- ICT教育 キーボード付きタブレット端末や電子黒板などのデジタル教材を使った授業を行っています。
- 豊かな自然を生かした学び 学校農園やホテルの飼育、ビワの袋かけなど、町の自然を生かした体験型教育を行っています。
- 英語教育改革イニシアティブ 町のふるさと大使である安河内哲也先生をアドバイザーに迎え、町独自の英語教育改革に取り組んでいます。
- 特認校制度 小規模な小学校では、サーフィン体験教室や陶芸教室などの特色ある教育活動を展開しています。

29 給食の食材費の上昇分を補助(小学校)

保護者の負担を増やさず給食の量と栄養バランスを保つために、物価高騰による給食の食材費の上昇分を町が補助します。

30 給食費の半額を補助(中学校)

教育費用が上昇するといわれる中学生を持つ保護者への支援として、食材費の上昇分も含め給食費の半額を町が補助します。



子どもの放課後を応援

31 学童保育所の延長保育(19時まで)

32 全ての学童保育所をICTで安全・便利に

出欠連絡や登所・退所状況などをアプリで管理します。

33 学校図書室開放時間の延長

本に触れる機会を増やすため、放課後も図書室を開放します。
※児童数が最も多い海老津小学校に試験導入(令和6年度)



子育て世帯にうれしい施設が充実!



子どもの学びや体験を応援

37 ふれあいチャレンジ教室

大人や同年代の子どもたちと一緒に、工作などを楽しめます。

38 San!Sun! サマースクール

夏休みに、子ども向けの集中講座を岡垣サンリーアイで開講します。



39 国内短期留学事業

夏と冬に長野県上田市と相互のホームステイ交流をします。

40 子ども地域体験活動補助

子どもたちが企画する体験活動にかかる費用を補助します。

41 通学宿泊「夢の体験塾」

親元を離れ、小学校に通学しながら数日間の集団生活を体験します。

スポーツに励む青少年を応援

42 ふれあいファミリースポーツ教室

簡単なスポーツを、親子でふれあいながら体験できます。

43 スポーツ大会出場参加補助

全国大会などへの出場参加費を補助します。



44 ふれあいファミリー体力測定会

家族でできる体力測定! 毎年の記録で成長が分かります。

若者世帯の新たな暮らしを応援



45 結婚新生活のスタートを応援

新婚世帯に住宅家賃や引越費用など、最大60万円を助成します。
※年齢や所得などの要件があります。

46 都市圏からの移住を応援

東京圏・大阪圏・名古屋圏などから岡垣町に移住した人に支援金を給付します。
※移住元や移住先、就業先などの要件があります。

47 住宅の取得を応援

中古住宅の購入などをした世帯に定住奨励金を交付します。
※年齢などの要件があります。

応援パッケージのお問い合わせ先

岡垣町役場 ☎ 093-282-1211 (代表)

教育総務課 (役場本館3階)

25 26 27 28 33

生涯学習課 (役場本館3階)

39 40 41

こども家庭センター
(子育てあんしん課)

(役場本館2階)

1 2 3 4
5 6 7 8
9 10 12 16
19 20

※⑩の「一時保育」サービスは
こども未来館へ

こども未来課
(役場本館2階)

11 14 15 17 18
24 31 32 45

福祉課
(役場本館2階)

23

健康づくり課
(役場本館1階)

13

都市建設課
(役場新館1階)

46 47

中央公民館
(吉木西 1-1-1)

21 37 42 43 44

☎ 093-282-0162

**岡垣
サンリーアイ**
(野間 1-2-1)

22 35 36 38

☎ 093-282-1515

こども未来館
(高倉 578-1)

16 34

☎ 093-281-5501

**岡垣町中学校
給食センター**
(山田峠 2-5-1)

29 30

☎ 093-281-3001

子育て相談窓口・応援施設

こども家庭センター(子育てあんしん課) ☎ 093-282-1211(代表)
妊娠期から子育て期までの相談受け付けや支援を行います。

こども未来館 ☎ 093-281-5501

0歳～18歳の子どもとその保護者などが利用できる児童福祉施設です。

保育コンシェルジュ(こども未来課) ☎ 093-282-1211(代表)

保育所への入所などについての相談を受け付けます。

教育相談電話 ☎ 093-282-4884

いじめや不登校、学校での悩み、発達障害などに関する相談を専門の教育指導員が受け付けます。

子ども支援オフィス ☎ 093-203-1661(福岡県委託事業)

生活や子育てに関する困りごとを、専門の支援員が受け付けます。

高齢者・障がい者相談センター ☎ 093-282-5167

東部高齢者・障がい者相談センター ☎ 093-282-5103

障がいについての相談受け付けや必要な情報の提供を行います。

福岡県宗像児童相談所 ☎ 0940-37-3255

虐待に関する相談や通告を受け付けるほか、発達や発育、性格、行動など、子どもの福祉に関する相談を専門の職員が受け付けます。

児童相談所虐待対応ダイヤル ☎ 189 (無料)

最寄りの児童相談所へ虐待に関する相談や通告ができる、全国共通の電話番号です。

児童相談所相談専用ダイヤル ☎ 0120-189-783 (無料)

育児や里親、ヤングケアラーなど子どもの福祉に関するさまざまな相談を受け付けています。

— 令和6年度版 —

あなたの子育て、
徹底サポート。

おかがき
子育て応援
パッケージ



子育て応援LINE
公式アカウント



子育て応援
パッケージHP

